

2019年度

事業報告書

社会福祉法人 いずみの福祉会

障害福祉サービス事業所 いずみのの家

2019年度 事業報告

1 基本方針

私たちは、「優しさと笑顔が集ういずみの家」を合言葉に障害を持つ人の笑顔と成長を目指して支援に取り組みました。

利用者の人権を尊重し、安全で安心な環境を整え、一人一人がその個性や能力を発揮して、主体的に行動できるように支援しました。

また、就労の機会を提供し、生活力を向上させる取り組みを行うとともに、家族や地域の人々との連携を強化して社会参加を促進し、利用者が地域の一員として、心豊かに、生き生きとした自分らしい生活ができるよう支援しました。

2 本年度の重点項目

(1) 社会福祉法人制度改革を踏まえ、法人としての運営体制の整備及び強化を継続的に推進しました。

- ①役員等の権限・責務・責任の明確化を図るとともに、評議員会による理事会への牽制機能が発揮されるよう、理事会及び評議員会を適正に開催しました。
- ②定款・事業計画・事業報告・財務諸表・現況報告書等をホームページ並びにワムネット(独立行政法人福祉医療機構が運営するサイト)に掲載し、適正に開示しました。
- ③役員等の報酬については「定款」及び「役員等報酬規程」に定めたとおり、適正に執行しました。
- ④社会福祉充実計画はグループホーム新規開設に向けた計画案を策定しました。計画期間は、2020年度の単年度計画としました。
- ⑤無料又は低額な料金による公益的な取り組みについては、定期的な地域清掃と防犯活動を継続しました。

(2) 事業所運営のさらなる醸成を図るため、職員の処遇と資質の向上に努めました。

- ①外部の研修会等に参加し、職員個々のスキルアップと専門的知識の向上を図りました。
- ②内部研修を開催し、外部研修で得た知識や情報の共有を図るとともに職員の各種資格取得の支援として勉強会の開催等も実施しました。

- ③年次有給休暇の付与の時期を入職日に変更するなどの修正を行いました。また、ほかの規程等についても併せて適正化を図りました。
- ④キャリアパスを見直し、目標管理制度による、より効果的な人事考課の検討を進めました。

(3) 特定相談支援事業については、41名の利用計画を作成し、98件のモニタリングを実施しました。引き続き関係機関等との連携を密にし、更なる相談支援体制の充実に努めます。

(4) 桶川市役所新庁舎内に「カフェ・ド・イズミノ」(就労継続支援の出張所)を開設以来、順調に運営され、市職員や他法人の協力もあり利用者の社会参加と就労の機会促進、併せて利用者の工賃確保にも大きく寄与するなど効果的な取り組みができました。

3 多様な福祉ニーズに対応した質の高い障害福祉サービス事業の提供

(1) 生活介護事業

◎支援方針

日中活動の場として、常時介助や生活支援等が必要な利用者に対して、日常生活上の支援や介助とあわせて、生産活動や創作的活動、レクリエーション等の活動を提供し、利用者がその個性や能力を発揮して生き生きと生活できるように支援しました。また、各利用者の障害程度や特性等に応じるため、個別支援計画に沿ってその利用者のペースにあわせた支援や介助等に心掛けました。

◎支援の概要

①個別支援計画の作成・見直し

家族及び利用者の意向を反映した個別支援計画を作成・実施し、6ヶ月ごとに見直しを実施しました。

②日常生活のきめ細かな支援と生活力の向上（毎月の個別支援記録の作成・記入と各家庭への配布）

利用者個々の日常生活能力に応じた支援に努めました。また家族からの連絡等の情報を共有することで、きめ細やかな支援につながることができました。また、個別支援記録を家庭に提供することで、より具体的な支援内容をお知らせすることができました。

③身体機能の維持・向上と健康保持

体力維持を図るため、利用者にあったペースで散歩を実施し、継続した機能訓練に取り組むことで筋力の低下を防止しました。

④発作、転倒等による事故防止

発作のある利用者に対しては、その後の様子も観察し家庭と情報を共有しました。転倒やパニックなどから大きな事故に繋がることはありませんでした。安全面を重視した生活が送れるようにしました。

⑤集団内での生活経験の増進

特別活動や外出等を通じて、外部との関わりを設け、地域や社会のルールやマナーを体験する機会を作りました。

(2) 就労継続支援事業 (B) 型

◎支援方針

社会活動への参加と自立を目標として、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を提供し、作業能力や意欲等の向上を目指しました。さらに、良好な人間関係の構築や労働習慣・規律等を習得するとともに、就労の基盤となる生活力の向上を目指して支援を行いました。

桶川市役所新庁舎内の「カフェ・ド・イズミノ」は円滑な運営を図ることができ、作業収入面でも貢献しました。また、近隣地域のイベント等への参加や清掃活動等を行い、地域の方々との交流を図りました。

◎支援の概要

①就労支援

- a 生産にかかる知識・能力・態度の維持、向上に取り組みました。
- b 工賃確保のための作業（製品づくり、商品販売、リサイクル）に取り組みました。
- c 施設外作業（施設外支援等）については、先方（農業法人）の都合でほとんど活動が実施できない状況となりました。

②就労機会の提供と社会参加の促進

- a 桶川市障害者就労支援センターとの連携一人の利用者が清掃業者に新規でパート雇用され就労を開始しました。
- b 「カフェ・ド・イズミノ」は円滑に運営され、利用者の就労機会にとどまらず作業収入にも大きく貢献することができました。

③生活力の向上

- a 普段の支援をおし自立生活力・社会生活力の向上支援に努めました。
- b 自立体験のための活動として、委員会・文化活動、特別活動それ

それに積極的に参加していただきました。

- c 地域の行事への参加は気象状況の影響などから参加の機会が減りました。

4 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための特定相談支援事業の推進

(1) 事業方針

ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者の基本的人権を尊重するとともに、地域福祉を支える様々な関係機関と密接な連携を図り、利用者が住み慣れた地域で尊厳のあるその人らしい生活が継続できるよう総合的なサービスの提供に努めました。

「いずみの家」の利用者を中心に、「サービス等利用計画」「継続サービス利用支援（モニタリング）」の作成を行いました。

(2) 事業内容

- ①関係機関との連携を図り、利用者の意向を反映したサービス等利用計画の作成を41件行いました。
- ②モニタリング報告件数は98件実施しました。サービス提供時モニタリングを3件実施しました。
- ③サービス担当者会議へも積極的に参加しました。
- ④相談支援事業の利用者拡大を図り、現在、41名です。

5 施設運営における事故防止と大規模災害に備えての防災対策の強化

施設事故を未然に防止するため、ヒヤリハット報告や各種訓練を通じ危機管理に向けての啓発に取り組みました。

また、災害の発生に備え、被害の軽減を図れるよう防災体制の強化に努めてまいりましたが台風19号の浸水被害は想定以上の被害となり、課題を残す結果となりました。

(1) 事故防止について施設内体制の整備

ヒヤリハット報告の様式の変更や運用の見直しを実施し、事例の蓄積に努めました。

台風19号については浸水も予想し前日から予め対策を講じましたが想定が不十分で、結果として公用車の水没等甚大な被害が生じました。利用者の安全を最優先に、防災計画の見直しをすることとしました。

(2) 災害発生に備えて、食品・備品等を順次整備

災害発生時用の備蓄食料品や物品等について、水害被害でほぼ全滅となり改めて3日分を前提に再購入し整備を進めました。また、新規に備蓄用倉庫を設置しました。

(3) 地域との防犯・防災協力体制の整備

消防署立会いの下、いずみの学園との合同防災訓練を実施しました。また、川田谷地区の防災訓練に参加するとともに、防犯パトロール用の帽子やジャンパー等の提供を受けるなど協力体制を維持しています。

6 地域社会との協力関係の推進

地域社会に理解され、相互協力と連携を深めるため、施設からの情報を提供するとともに、地域の行事、訓練等への参加やボランティア等の受け入れ、地域交流活動の実施などを積極的に推進しました。また、社会福祉法人として地域社会に必要とされる活動を計画的に取り組みました。

(1) 地域公益活動の推進

(2) 地域の行事等への積極的参加

7 家族との信頼関係の構築

家族との親睦や交流を深め利用者、家族、職員間の信頼関係の推進を図るとともに、より充実した支援サービスを提供しました。

(1) 家族との意見交換を通じた支援サービスの向上

(2) 家族との連絡を密接にし、連携を強化

8 適切な施設情報の発信

施設運営において積極的に事業や活動の情報をインターネット等で発信し、利用者、家族、福祉関係者にとどまらず、広く適切な情報開示を行うことで組織の信頼性を高めることに努めました。広報活動を効果的にするため、広報の目的や対象者を明確化し、ホームページや広報誌等の内容の充実を図りました。

- (1) ワムネット（独立行政法人福祉医療機構が運営するサイト）やホームページを活用し、法人の理念、施設の活動等を広く情報発信
- (2) 広報誌「いずみ野」の発行に際し、包括的な視点から施設活動を発信

9 利用者の人権擁護と虐待防止の徹底

利用者一人一人の権利擁護や人権を尊重し、差別のない地域社会でその個性や能力を充分発揮できるよう支援に努めました。

虐待防止委員会を組織し、障害者の尊厳を守り、自立や社会参加の妨げとならないよう虐待の禁止・予防と早期発見に取り組みました。

- (1) 虐待の禁止・予防と早期発見のための虐待防止委員会を開催しました。3カ月毎にスローガンを設定し虐待防止と共に人権擁護について職員間で共通認識が持てるようにしました。
- (2) 障害者虐待防止チェックリストを全職員対象に実施、また外部研修に参加するとともに、内部研修を開催し、虐待の防止に努めました。

10 個人の権利利益を保護し、個人情報 の有用性に配慮した適切な取り扱いを実施

利用者等の個人情報に関し、適正かつ適切な取り扱いに努力するとともに、広く社会からの信頼を得るため組織体制を確立し、個人情報の保護に努めました。

個人情報を保護するため、適切な取得、利用、開示、委託等について事業者としての立場を遵守し、安全管理に努めました。

- (1) 個人情報管理の適正化
- (2) 職員の守秘義務意識の徹底

11 行政及び関係諸機関との連携の推進

行政や医療機関及びサービス提供事業者との連携を図り、情報の共有化を推進することで、関係諸機関との円滑な連携に努めました。

また、各種施策や施設整備の充実を図るため、行政及び関係諸機関に対し、意見の交換や情報の共有に努めました。

12 共同生活援助事業（グループホーム）開始に向けての取り組み

グループホームについては、いずみのの家利用者・家族の高齢化や住み慣れた地域での社会自立を望む声などが多くあり、また地域ニーズとしても高いニーズがあることからいずみの福祉会としても共同生活援助事業を開始することとしました。また、2019年度決算の結果、社会福祉充実計画を策定することとなり、グループホームの新規設置に係る計画を作成することとしました。

- (1) グループホーム用中古物件の選定
- (2) 設計事務所との契約（農業振興地域の除外申請・農転申請・用途変更申請・改修工事監理業務等）
- (3) いずみの福祉会社会福祉充実計画案の作成

2019年度

【別表1】 外部研修参加実績

実施日	研修名	主催者	開催場所
6.20	アンガーマネジメント研修	埼玉県社会福祉協議会	埼玉県農業共済会館
6.28 7.1	新任職員研修	埼玉県発達障害福祉協会	彩の国すこやかプラザ
7.9	虐待防止研修(1日)	埼玉県社会福祉協議会	埼玉県農業共済会館
7.11 23	チームリーダー キャリアパス研修	埼玉県社会福祉協議会	彩の国すこやかプラザ 埼玉県産連研修センター
7.26 8.6	強度行動障害養成研修 (基礎研修)	埼玉県社会福祉協議会	埼玉県産連研修センター 彩の国すこやかプラザ
8.27	第2回看護師交流会	上尾・桶川・伊奈障害福祉関係事業所連絡会	あげお福祉会 杜の家
9.11、18	初任者キャリアパス研修	埼玉県社会福祉協議会	ウエスタ川越
9.9 11.27	サービス管理責任者等基礎研修	埼玉県	さいたま市民会館 大宮ソニックホール
9.18	個別支援計画について考える	上尾・桶川・伊奈障害福祉関係事業所連絡会	あげお福祉会 杜の家
9.27	発達障害と併存障害 周辺症状への理解	埼玉県発達障害者支援センター 「まほろば」	埼玉県男女共同 参画推進センター
10.11,18	強度行動障害養成研修 (実践研修)	埼玉県社会福祉協議会	さいたま商工会議所 埼玉教育会館
11.11、12	中堅職員研修	埼玉県発達障害福祉協会	埼玉会館
11.25	福祉サービス苦情解決セミナー	埼玉県社会福祉協議会	彩の国すこやかプラザ
12.4 17	埼玉県障害者虐待 防止・権利擁護研修	埼玉県	上尾市文化センター 彩の国すこやかプラザ
2.14	スペース24駐車場清掃意見交換会	埼玉セルプ協議会	埼玉県障害者交流センター
2.25	第3回看護師交流会	上尾・桶川・伊奈障害福祉関係事業所連絡会	上尾あゆみ会 ふじ学園

【別表2】内部研修実施報告

実施日	研修内容	備考
1.29	福祉系国家試験対策研修会	ミニテストを実施
2.1	強度行動障害を有する 利用者支援について	社会福祉法人にじの会 菊池氏
3.6	職場内の虐待防止について 一部：パート職員対象 二部：正職員対象	チェックリストの活用とグループワーク 「グレーゾーンについて」 包括的暴力防止プログラムの説明

【別表3】作業収支

年度	総収入	工賃総支給額	一人当たりの 平均工賃額(月額)
24年度	2,373,385	1,568,295	5,353
25年度	2,590,611	1,843,240	6,445
26年度	2,758,329	1,898,478	6,592
27年度	3,405,851	2,245,842	7,245
28年度	3,904,206	2,536,479	8,130
29年度	3,772,803	2,513,256	7,747
30年度	4,379,325	2,501,150	7,940
2019年度	4,271,627	2,308,885	7,448

【別表4】作業種類別作業収入

作業種類	28年度	29年度	30年度	2019年度
カフェ	—	—	1,163,304	1,713,826
製袋作業	641,536	697,276	668,736	557,357
印字作業	135,594	157,507	192,456	180,053
組み付け作業	131,543	199,415	232,910	185,802
ボルト組み付け	—	—	28,734	13,722
米等封入作業	109,117	111,288	126,326	107,265
石けん作業	183,103	109,663	85,001	51,347
手芸	246,765	203,560	144,960	87,330
仕入れ販売(石けん)	311,130	324,855	163,155	128,450
仕入れ販売(味噌)	380,597	449,296	410,174	407,397
仕入れ販売(米)	718,660	553,640	374,080	244,590
アルミ缶リサイクル	121,380	130,200	119,350	105,140
古紙リサイクル	1,700	6,387	3,175	—
除草作業	272,784	267,600	274,560	229,663
駐車場清掃	—	—	64,800	156,960
施設外支援	50,875	37,500	46,900	6,475
施設外就労	79,344	81,216	39,960	—
イベント食品販売	402,191	319,200	191,144	64,000
その他	23,450	23,400	49,600	32,250
総収入	3,809,769	3,672,003	4,379,325	4,271,627
作業収入	—	—	2,499,512	2,308,759
支給工賃額	—	—	2,501,150	2,308,885

【別表5】委員会活動表

委員会	回数	主な内容
給食献立委員会 (6名)	11回	<ul style="list-style-type: none"> ・当番による毎日の配膳、後片付け、清掃 ・給食配膳当番の内容の点検、確認、問題点等について話し合い、改善しました。 ・希望メニューの確認
保健衛生委員会 (5名)	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・歯ブラシ、コップの消毒(月1回) ・加湿器の片付け
環境整備委員会 (13名)	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・花植え、管理 ・施設内外の清掃、除草 ・毎月第3火曜日の地域清掃
掲示委員会 (3名)	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内のポスター等の掲示物を掲示する

【別表6】定例活動報告

定例活動	実施回数	主な活動内容
大正琴	16回	・専門性を有するボランティア(2名)の協力を得て活動を支援しました。また地域の行事に参加して演奏しています。(7/18いずみの学園まつり) (市民まつり不参加)
書道	9回	・専門性を有するボランティア(2名)の協力を得て活動を支援しました。 ・「おけがわ市民芸術文化祭・総合アート展」は不参加。 ・武蔵野銀行桶川支店ロビー展示なし。
生け花	10回	・専門性を有するボランティア(1名)の協力を得て活動を支援しました。 ・「おけがわ市民芸術文化祭・総合アート展」は不参加。
折り紙	9回	・専門性を有するボランティア(4名)の協力を得て活動を支援しました。 ・完成した折り紙を保存し、利用者が作成した折り紙作品を展示。 ・武蔵野銀行桶川支店ロビー展示なし。
音楽広場	15回	・専門性を有するピアノボランティア(1名)の協力を得て活動を支援しました。 ・余暇活動として歌を歌ったり、踊ったりし、楽しむ時間を持つことができました。

【別表7】地域交流実施状況

実施日	時間	内容	参加者
4/14(日)	14:00~	川田谷地区社協総会	所長
5月下旬	適宜	川田谷地区 広報誌「いずみ野」回覧	
6/16(日)	9:30~16:00	べに花まつり ・場所…桶川市農業センター周辺 ・内容…クッキー、石けん・手芸品等の販売	職員 2名
7/6(土)	10:00~11:30	バンド演奏 ・場所…いずみの家(ホール) ・内容…歌とバンドの演奏	ボランティア4名 利用者・職員 43名
7/18(木)	16:40~17:10	学園まつり ・場所…いずみの学園 ・内容…大正琴「たんぼぼの会」出演	たんぼぼの会4名 ボランティア2名 利用者・職員5名
9/7(土)	9:00~	川田谷地区防災訓練	所長
2/15(土)	10:00~11:30	狐塚こんこん百歳体操 ・場所…いずみの家(ホール) ・内容…利用者・ボランティアの健康体操	ボランティア3名 利用者・職員 45名

※その他：利用者・職員による地域清掃を実施。(毎月第2火曜日)

【別表8】訓練実施報告			
実施日	時間	内 容	参加者
7/19(金)	15:10~15:50	水害の避難訓練 集中豪雨や台風、それに伴う川の氾濫等を想定し、 安全な場所に避難した後、帰所	職員 20名 利用者 40名
12/2(月)	10:20~11:20	地震発生時の避難訓練 ※消防署員による指導 地震の発生を想定し、その対応と、避難場所への 安全、速やかな移動及び通報連絡、消火活動	職員 19名 利用者 41名
1/10(金)	15:45~17:20	応急救護訓練 ※消防署員による指導 緊急時における心肺蘇生法やA E Dの使用法	職員 19名
2/7(金)	10:30~11:30	いずみの学園合同総合防災訓練 ※消防署員による指導 いずみの学園からの出火想定（避難・消火）	職員 17名 利用者 40名

【別表9】法人・施設主な年間実績

月	法 人	施 設
4		2019年度消防計画変更届 3/20
5	監事監査 5/24 (決算・事業報告他)	広報誌発行 5/24
6	理事会(事業報告) 6/8 評議員会(事業報告) 6/23 理事長の変更登記 6/27 資産登記 6/27	いずみのの家体制届 6/5 消防設備点検 6/10 職員健康診断 6/19
7		避難訓練(水害) 7/19
8		
9		
10		
11	理事会 11/30	
12	評議員会 12/15	総合防災訓練 12/2 消防設備点検 12/23 (提出1/9)
1		応急救護訓練 1/10
2		合同総合防災訓練 2/7
3	理事会 3/14 (補正予算・事業計画・次年度予算) 評議員会 3/21 (補正予算・事業計画・次年度予算)	

障害福祉サービス事業所いずみのの家 事業概要 (2020年3月31日現在)

【参考資料】 No 1 利用者状況

<表記> 生活：生活介護事業 ・ 就労：就労継続支援B型事業

1. 定員及び契約者数 (単位=人)

	定員	契約者数	男性	女性	計
生活	20	27	19	8	27
就労	20	25	16	9	25
計	40	52	35	17	52

2. 年間入退者数 (単位=人)

	前年度末	新規	退所	当年度末	増減
生活	26	1	0	27	+1
就労	26	1	2	25	-1
計	52	1	2	52	0

※ 3月31日付退所者は翌年度に計上

3. 平均実利用者数 (単位=人)

	全利用者 延べ人数	開所日数	平均 利用者数
生活	5,400	244	22.1
就労	5,389	245	22.0

4. 年齢別 (単位=人)

		20才未満	20~29才	30~39才	40~49才	50才以上	計
生活	男	0	8	3	6	2	19
	女	1	2	1	3	1	8
就労	男	1	8	2	2	3	16
	女	0	1	0	5	3	9
合計		2	19	6	16	9	52

		最高年齢	最低年齢	平均年齢	(単位=歳)
生活	男	71	21	36.5	生活平均年齢
	女	52	19	38.2	37.35歳
就労	男	63	19	36.6	就労平均年齢
	女	69	28	48.2	42.40歳
全体平均年齢 (歳)				39.88	

5. 在所年数 (単位 = 年)

※平成24年4月1日新法人設立日より起算

		1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10~15年未満	15年以上	計
生活	男	0	1	2	16	0	0	19
	女	0	1	0	7	0	0	8
就労	男	1	2	0	13	0	0	16
	女	0	0	1	8	0	0	9
計		1	4	3	44	0	0	52

6. 障害程度区分 (生活のみ) (単位 = 人)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	0	0	6	7	6	19
女	0	0	0	2	3	3	8
計	0	0	0	8	10	9	27

7. 療育手帳保持者 (単位 = 人)

		判定	○A	A	B	なし	計
生活	男		14	4	0	1	19
	女		6	2	0	0	8
就労	男		2	10	4	0	16
	女		0	6	3	0	9
計	男		16	10	3	1	52
	女		6	8	3	0	

8. 身体障害者手帳保持者 (単位 = 人)

		人数	計
生活	男	7	8
	女	1	
就労	男	2	4
	女	2	
計	男	9	12
	女	3	

9. 精神障害者保健福祉手帳 (単位 = 人)

		人数	計
生活	男	0	0
	女	0	
就労	男	0	0
	女	0	
計	男	0	0
	女	0	

10. 市町村別内訳

(単位 = 人)

	桶川市	北本市	上尾市	鴻巣市	久喜市	合計
生活	17	7	2	0	1	27
就労	18	5	0	2	0	25
計	35	12	2	2	1	52

【参考資料】 No2 ボランティア受け入れ状況

2019年度実績

種別	参加人数	実施回数	延べ人数	内 容
折り紙教室	4	9	27	利用者への折り紙の指導 (月1回)
生け花教室	1	10	10	希望利用者への生け花の指導 (月1回)
書道教室	2	9	18	希望利用者への書道の指導 (月1回)
音楽広場	1	14	14	音楽指導とピアノ伴奏 (月2回)
生け花飾り	1	36	36	玄関を飾る生け花
大正琴活動	2	15	16	利用者への大正琴指導
日中活動	1	25	25	作業の手伝い等
特別活動	3	5	15	特別活動手伝い等
桶川市社協 ボランティアスクール	0	0	0	作業の手伝い、散歩の介助等
その他	6	3	10	台風被害時の手伝い
合 計	21	126	171	

【参考資料】 No3 その他の支援サービス

種 別	主 な 内 容
給食	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康的でバランスのとれたおいしい食事を提供しました。 ・ 利用者からの要望・嗜好・意見等を聞き、選択メニューや行事食を実施しました。(選択メニュー39回 行事食2回) ・ 利用者給食献立委員会への支援を行いました。 ・ 食育を進めました。 ・ 調理室の消毒、食材の適切な管理など、安全な給食に努めました。
保健・衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嘱託医による健康相談や定期健康診断を実施しました。(5～6月) ・ 毎月、血圧・体重測定を実施しました。 ・ 利用者保健衛生委員会への支援を行いました。 ・ 食中毒やインフルエンザ等の感染症予防についての啓発プリントの配布等を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 〔 6月 食中毒及び熱中症について 12月 インフルエンザ・ノロウイルス・結核等の予防について 2月 新型コロナウイルス感染症予防について ・ 冬期～エヴァ水の噴霧による施設内消毒、加湿器の管理
音楽療法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月2回(主に第1・第3月曜日)音楽療法士によるセッションを実施しました。(年間21回) ・ 音楽療法士が参加利用者のニーズに沿って「療法目標」と実施日の「プログラム」を作成しセッションを行いました。
送迎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通所の利便のため、マイクロバス等による4コースの送迎を行いました。

【参考資料】 No4 年間行事実施内容（2019年度）

月	行 事 内 容
4	・ 歓迎レク大会（カワジマン戦隊ショー・ペットボトル起こし大会） 〈合同〉 ・ 歓迎ハイキング（大宮花の丘農林公苑） 〈合同〉
5	・ 外出（榎本牧場） 〈合同〉
6	・ 外出（北本市 アイビーボウル） 〈事業別 就労継続〉
	・ 外出（北本市 北本総合公園） 〈事業別 生活介護〉
7	・ 地域交流（バンド演奏 いずみのの家） 〈合同〉
8	・ 暑気払い（はばたき会との交流会） 〈合同〉
9	・ ミニ運動会（いずみのの家） 〈合同〉
	・ 調理（サンドウィッチ作り いずみのの家） 〈合同〉
10	（台風被害のため実施なし）
11	・ ボッチャ大会（いずみのの家） 〈合同〉
	・ ネイチャークラフト（いずみのの家） 〈合同〉
12	・ 外出（アリオ上尾店） 〈事業別 就労継続〉
	・ カレンダー作り（いずみのの家） 〈事業別 生活介護〉
	・ クリスマス会 〈合同〉
1	・ 初詣（吉見町 吉見観音） 〈合同〉
	・ カルタ大会（いずみのの家） 〈合同〉
2	・ 外出（桶川西高校ハートフル水族館） 〈合同〉
	・ 狐塚こんこん百歳体操 〈合同〉
3	・ ボッチャカーリング大会（いずみのの家） 〈事業別 生活介護〉
	・ 風船バレー大会（いずみのの家） 〈事業別 就労継続〉